

【案】

令和7年5月26日

白杵市長 西岡 隆 殿

白杵市総合計画審議会
会長 吉村 充功

第3次白杵市総合計画について(答申)

令和6年10月3日付けで、当審議会に諮問のあった「第3次白杵市総合計画(案)」について、本審議会において慎重に審議した結果、計画は概ね適切なものと認め、次のとおり答申する。

なお、総合計画の策定及び展開にあたり、下記に留意すべき意見をまとめたので、これらの意見を十分に尊重いただき、まちの将来像として掲げた『次世代へ誇れるまち白杵～^{むす}掬^ぶが、つなぐ、そして創造する～』の実現に向けて最善を尽くされるよう要望する。

記

1. 社会情勢の変化に合わせて

想定を上回るスピードで進む人口減少やデジタル技術の急速な進化、グローバル化の進展、環境問題の深刻化と自然災害の脅威などにより、市民の暮らしは大きく変化し、地域コミュニティのあり方も変容しつつある。そのため、第3次白杵市総合計画に掲げたまちづくりの推進にあたり、現状及び課題を明確にした上で、戦略的な施策を展開されるよう検討されたい。

2. 持続可能な白杵の実現に向けて

2005(平成17)年に旧白杵市と旧野津町が合併して誕生した新白杵市は20周年を迎えた。これまで20年間の取組を踏まえ、10年先、さらにその先を見据えた持続可能な白杵の実現に向け、本計画を着実に遂行されたい。

3. 市民が幸せを実感できるまちをめざして

市民が「住みたい」「住み続けたい」「働きたい」と思えるまち、特に、こどもたちが「白杵が好き」「将来は『白杵に帰りたい』『白杵で生活したい』」と思える市民満足度の高いまちの実現に向け、市民が幸せを実感できる「市民が主役のまちづくり」を行うよう努められたい。